

新たな火葬場整備に係る取組について

平成29年11月19日
相模原市 市民局 区政支援課

1 昨年度までの取組

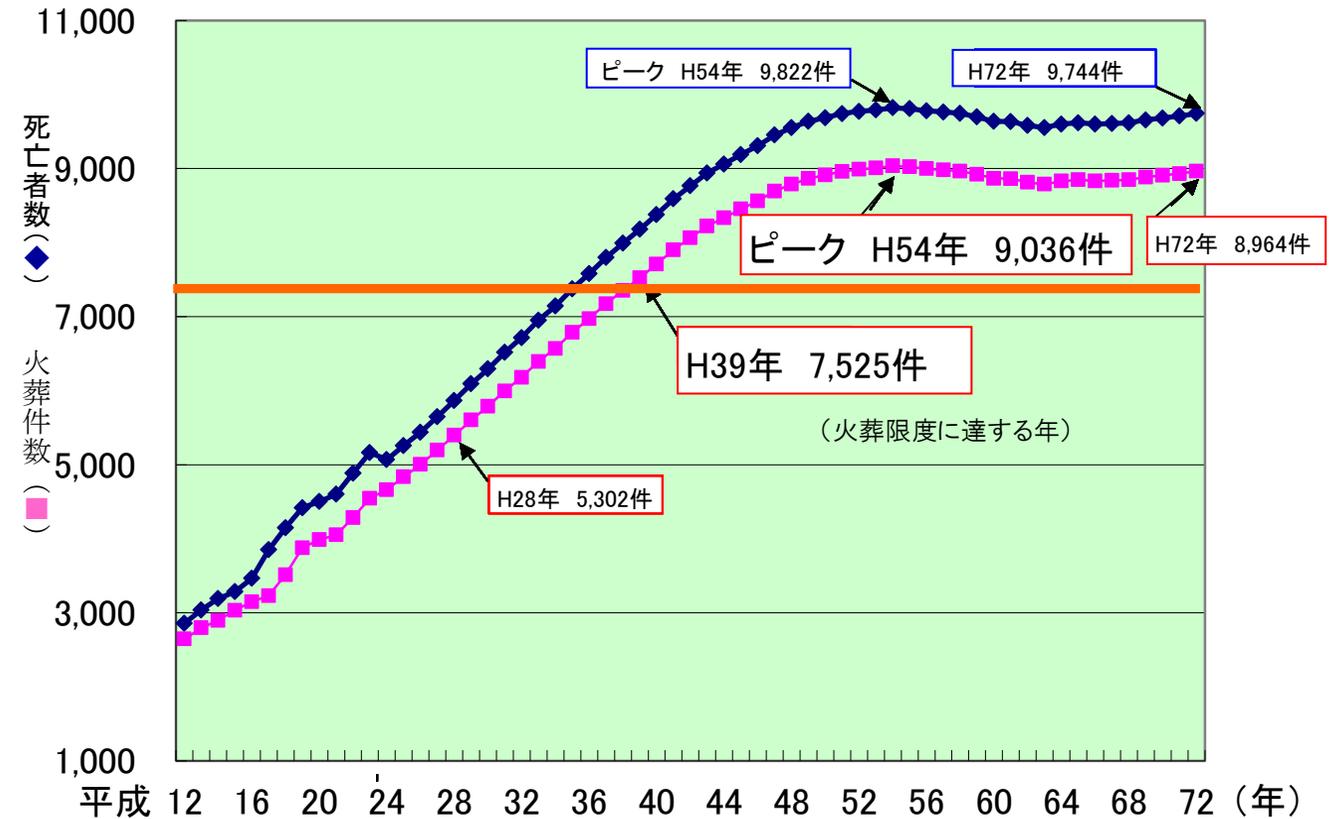
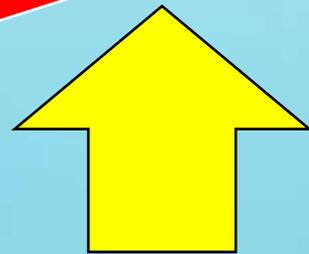
昨年度までの取組

相模原市の火葬需要の現状と予測

高齢化の進行などにより、
**平成39年には、火葬需要が
現市営斎場の火葬枠を超過する予測**

平成54年の火葬需要
約9,000件/年

火葬枠
約7,700件/年

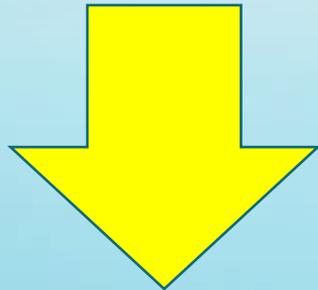


現市営斎場を取り巻く現況

- 現市営斎場の火葬炉の稼働率は、現在約7割
⇒1月～3月の昼前後の時間帯は、5～6日待ち
- 周辺市町の火葬場においても、火葬需要は増加傾向
⇒本市同様、近隣の市町（愛川、厚木、南多摩、横浜、大和）の火葬場にも住民優先予約枠があり、他市住民である相模原市民の利用しづらい状況が想定される

新たな火葬場整備の必要性

○現市営斎場は、建設から約25年が経過しており、今後、大規模改修の必要が生じている。



- ・火葬場は、市民生活にとって必要不可欠な施設
- ・平成39年には、火葬枠を超過する予測

現市営斎場の大規模改修の工期を考慮すると、平成36年度中までには、新たな火葬場の整備が市としての喫緊の課題

最終候補地（案）「青山」

昨年度までの取組



○平成28年9月より市民や地域団体への説明会を実施
⇒平成28年11月の最終候補地決定を目途

最終候補地（案）「青山」（1/4）

昨年度までの取組



最終候補地（案）「青山」（2/4）

昨年度までの取組



最終候補地（案）「青山」（3/4）

昨年度までの取組



最終候補地（案）「青山」（4/4）

昨年度までの取組



最終候補地決定に向けた説明会等の経過

H28. 9. 6	緑区内の大規模プロジェクト等に係る合同説明会
H28. 9. 8	串川地域振興協議会（全体会）
H28. 9.14	鳥屋地域振興協議会（全体会）
H28. 9.15/18/22	市民を対象とした説明会
H28.10.25	馬石自治会説明会



第7回新たな火葬場を考える会（H28.11.2）における最終候補地決定時期に関する意見
新たな火葬場の整備が検討されていることは、**地域・住民に伝わっていないため、平成28年11月の最終候補地決定は、時期尚早である**

最終候補地決定時期の延期（H28.11.4）後の取組み

最終候補地の決定時期を延期し、
地域・住民に対して更に丁寧な説明を開始



H28年度内の最終候補地決定を目途に、自治会等を中心に説明

H28.11.25 串川地域振興協議会（役員会）
H28.12.14 串川地域振興協議会（全体会）
H28.12.22 串川地域振興協議会（候補地等の見学）
H29. 1.24 関地区の6自治会
H29. 1.26 鳥屋地域振興協議会（全体会）
H29. 1.31 緑区内の大規模プロジェクト等に係る
合同説明会
H29. 2.10 長竹地区の4自治会
H29. 2.17 新たな火葬場を考える会（中間報告）

H29. 2.22 鳥屋地域振興協議会（候補地等の見学）
H29. 2.22 馬石自治会（候補地等の見学）
馬石自治会
H29. 2.24 鳥屋地区の11自治会
H29. 3. 6 関上自治会
H29. 3. 8 根小屋地区の10自治会
H29. 3.23 新たな火葬場を考える会（結果報告）
H29. 3.24 串川地域振興協議会（役員会）
H29. 3.30 串川地域振興協議会（全体会）

串川地区・鳥屋地区の全自治会への説明会を実施

昨年度の説明会等での主な意見等

(1) 火葬場整備（全般）について

- 火葬場の整備は必要だと思う。
- 火葬場は市内に2箇所あるべきだと思う。

昨年度の説明会等での主な意見等

(2) 津久井広域道路延伸部での火葬場整備について

- 津久井広域道路の早期延伸整備をお願いしたい。
- 国道412号まで都市計画決定されており、市は整備しなければならないはず。
- 津久井広域道路延伸部での火葬場整備により、道路延伸の具現化に期待できる。
- 津久井広域道路から直接アプローチさせる方が、火葬場の利便性は高いと思う。
- 津久井広域道路延伸部における火葬場整備について再考してほしい。

昨年度の説明会等での主な意見等

(3) 最終候補地（案）「青山」について（1 / 2）

- 土砂災害警戒区域内であるため、建設を懸念する。
- 地震峠から近い場所であるため、建設を懸念する。
- 葦尾根の辺りに活断層があるため、危険な場所である。
- 県道鳥屋川尻の「関」バス停から「六間入口」バス停の間は幅員が狭いため、道路拡幅等の必要があると思う。
- 一級河川串川が綺麗に保たれるようにして欲しい。
- 鳥獣の発生が多い場所なので、対策が必要と思う。

昨年度の説明会等での主な意見等

(3) 最終候補地（案）「青山」について（2/2）

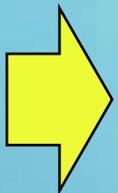
- 「青山」は寒く、冬は凍結することもある。春は花粉も多い。より良い施設とするために、対策を考えて欲しい。
- 「青山」は、評価と比較を行った他の2候補地と比べ、工期は短く、安く整備できる。緑区民にとって、緑区内に市営の火葬場があれば利便性が向上することから、前倒しも見据えた積極的な事業推進を図ってほしい。

(4) その他

- 火葬場を整備することは良いので、地域の振興を考えて欲しい。

最終候補地の決定に向けた方針（H28年度末）

- 平成28年度末の最終候補地決定
 - ⇒火葬場整備に対するご理解や土砂災害等に対する市民の不安感への対応などを含め更なる説明が必要
 - ⇒決定時期の見送り
- 最終候補地（案）「青山」での整備を前提として
 - ・最終候補地（案）「青山」の地質調査等を実施
 - ・火葬場整備と関連のある環境整備の地域要望について、市と地域とで協議を進めていく



最終候補地の決定については、地域住民や地域団体等の合意形成の熟度が高まった段階で、最終候補地を決定したい

2 本年度以降の新たな火葬場整備の事業推進に向けた取組

最終候補地（案）「青山」での整備を前提として

- 最終候補地（案）「青山」周辺の土地所有者等への個別事業説明
 - ・周辺にお住まいの方
 - ・居住はないが、土地を所有している方 など
- 最終候補地（案）「青山」での地質調査等の実施
- 火葬場整備と関連のある環境整備の地域要望についての市と地域との協議

2-1 地質調査等の概要について

目的

新たな火葬場整備事業の最終候補地決定に向けて、
検討資料等を作成するもの

内容

- ボーリング調査（3ヶ所）
- 簡易的な貫入試験（8ヶ所）
- 土質試験（土・石の大きさや性質を測定）
- よう壁等の安全対策工の検討資料作成
- 建物の基礎構造等の検討資料作成

調査期間

○調査委託期間

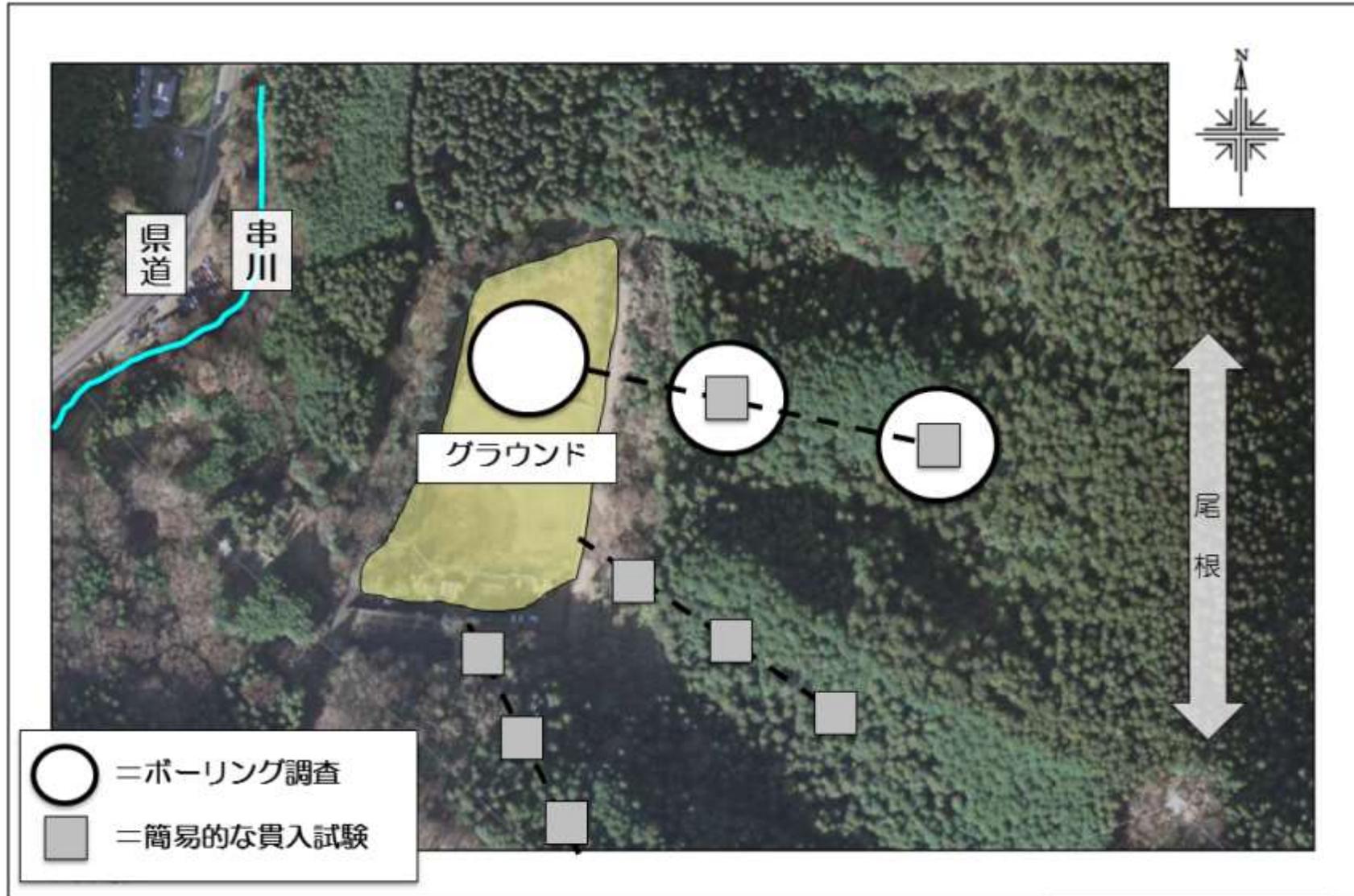
⇒平成29年8月23日から平成30年2月28日まで

○現地での作業期間

(最終候補地(案)「青山」及び「青山」東側傾斜部の一部)

⇒平成29年9月28日から11月9日まで

地質調査の位置



ボーリング調査



やぐら

ボーリング調査（資材搬入用モノレール）



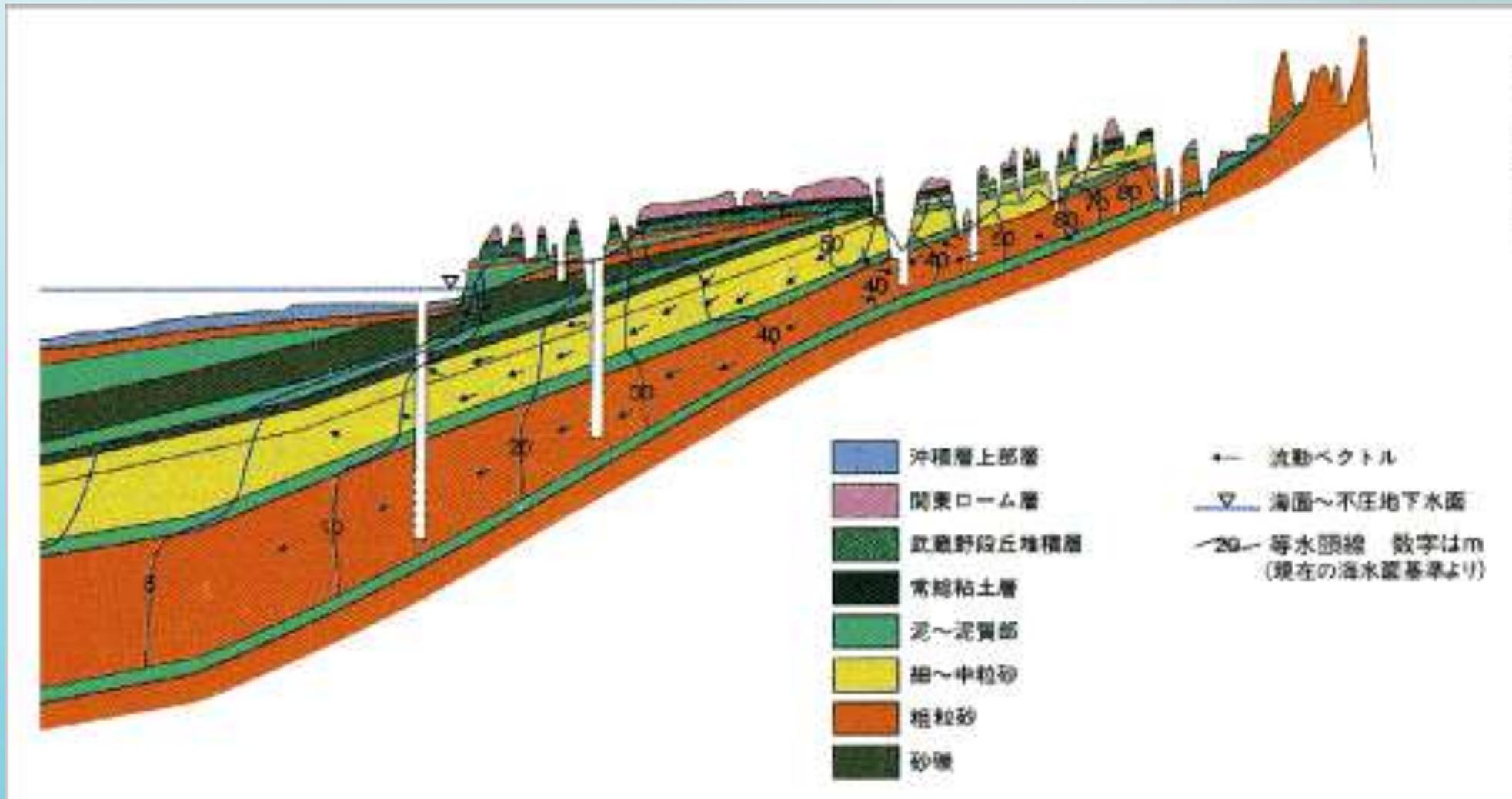
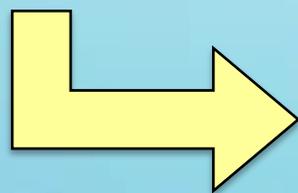
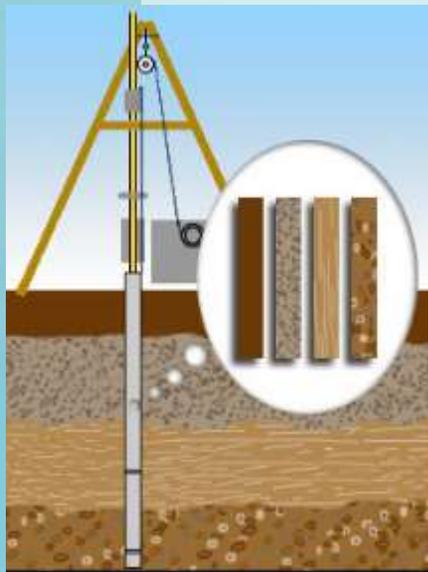
ボーリング調査



簡易的な貫入試験



地層断面図【成果品イメージ】



よう壁等の安全対策工の検討資料【成果品イメージ】

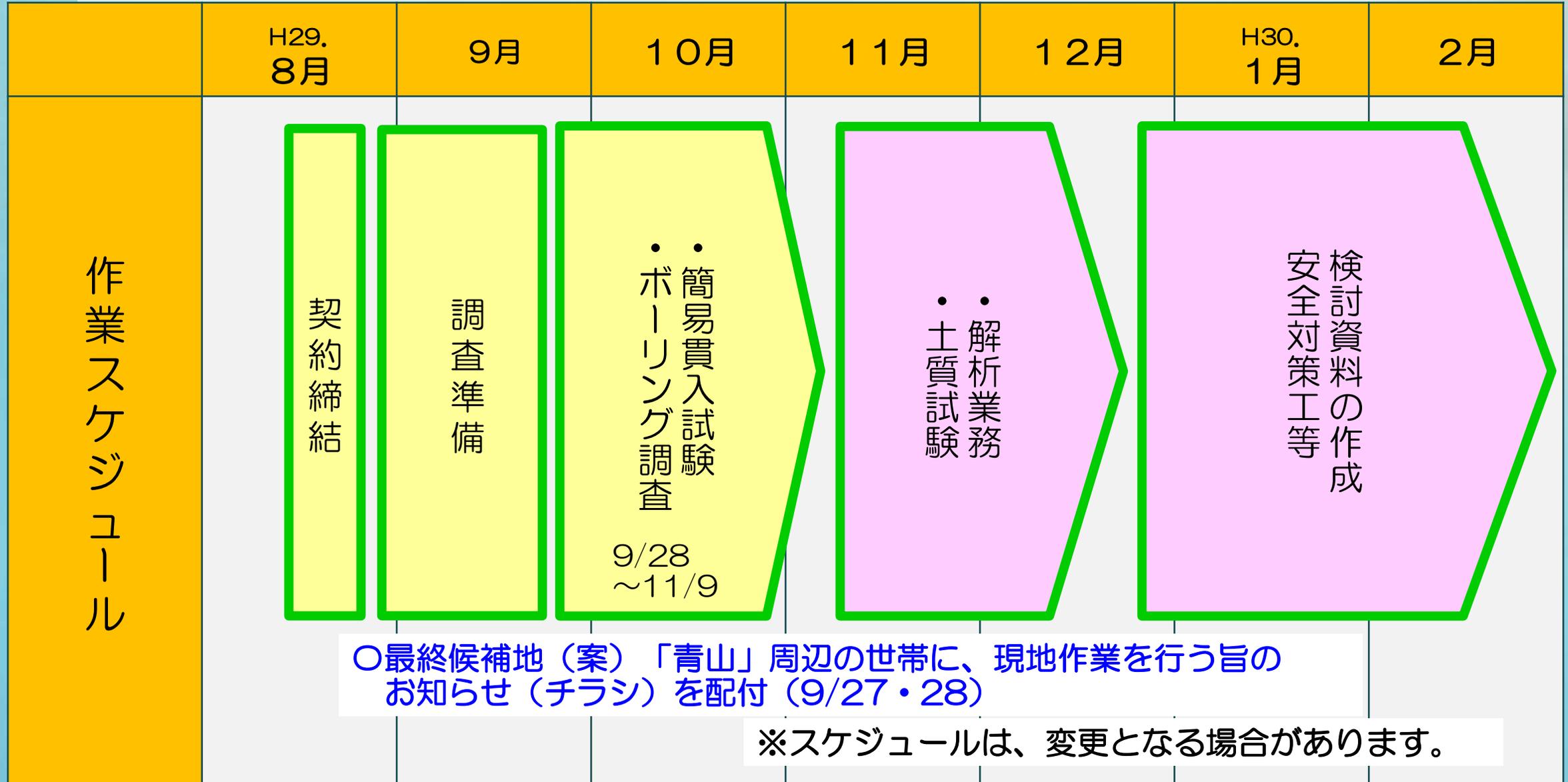


よう壁等の安全対策工の検討資料【成果品イメージ】



地質調査等の作業スケジュール

本年度以降の取組



2-2 火葬場整備と関連のある環境整備の地域要望についての市と地域との協議

新たな火葬場整備の円滑な事業推進のためには、地域の皆様のご理解・ご協力が必要。
串川地域振興協議会及び鳥屋地域振興協議会と協議していく。

串川地域振興協議会

鳥屋地域振興協議会

話合いの場

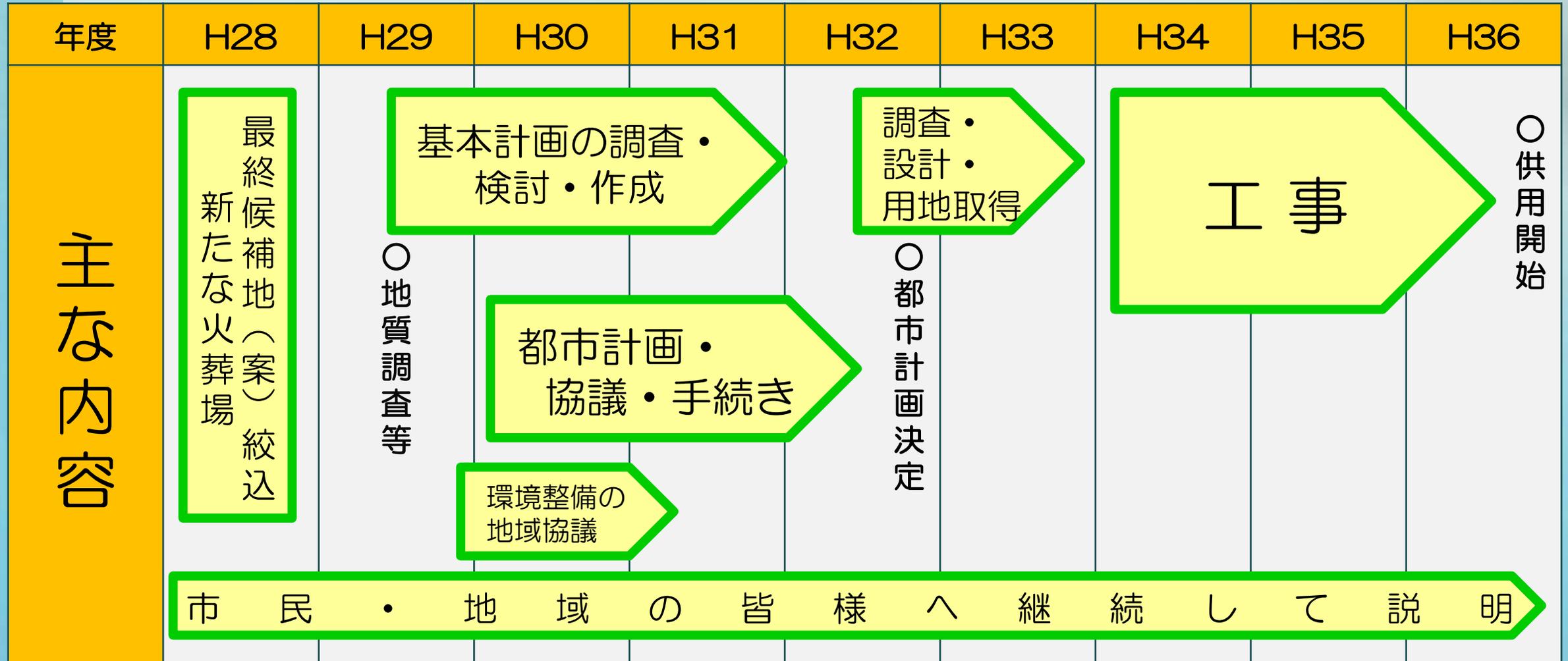
話合いの場

市（新たな火葬場整備 検討会議）※全庁横断的に構成



本年秋季以降に、話合いを開始

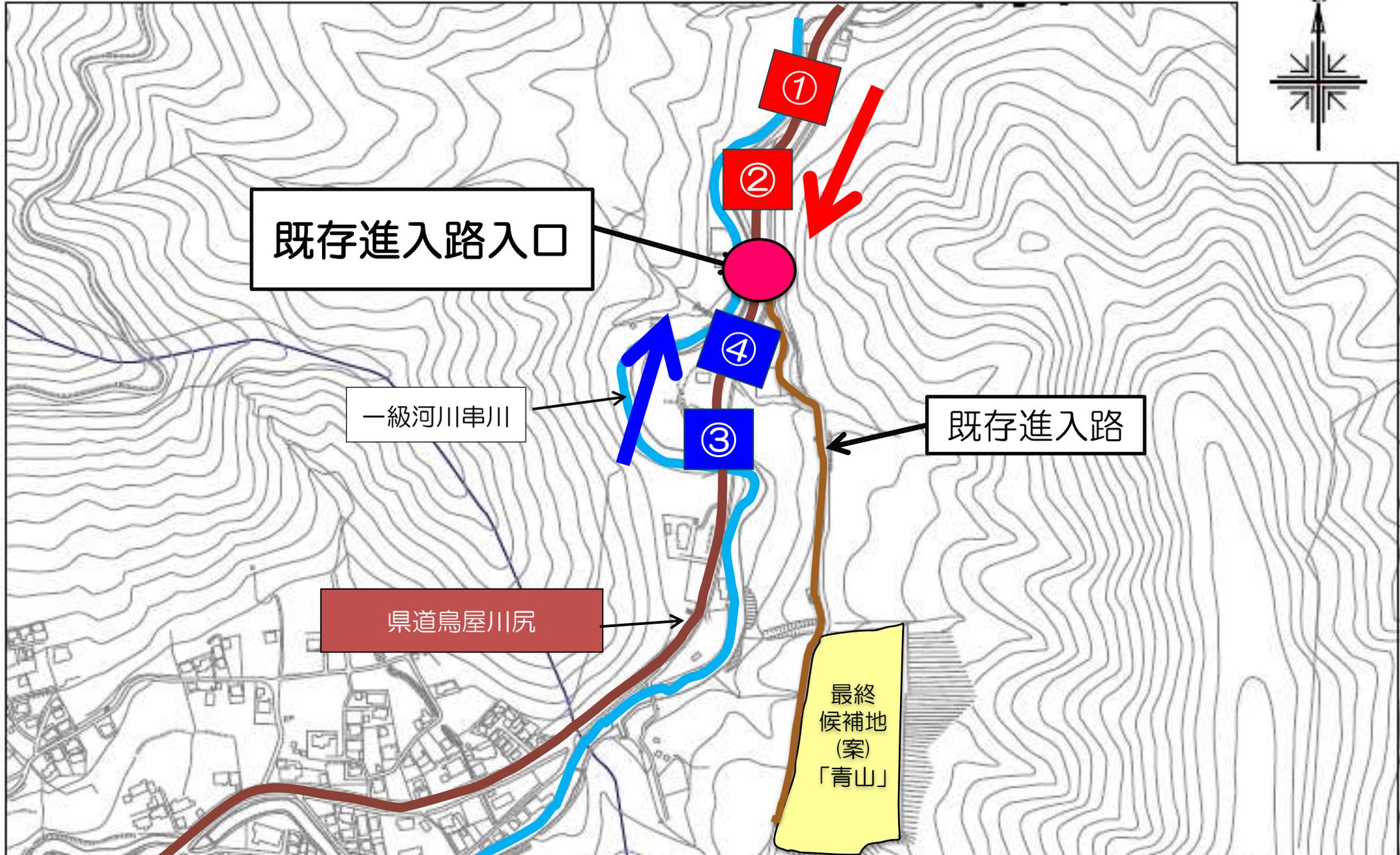
新たな火葬場整備のスケジュール 最終候補地（案）「青山」



※事業の進捗に応じてスケジュールは変更となる場合があります。

3 最終候補地（案）「青山」の周辺状況について

進入路の概略設計



串川方面から進入路入口方向①



串川方面から進入路入口方向②

既存進入路入口



鳥屋方面から進入路入口方向③

南沢バス停



鳥屋方面から進入路入口方向④

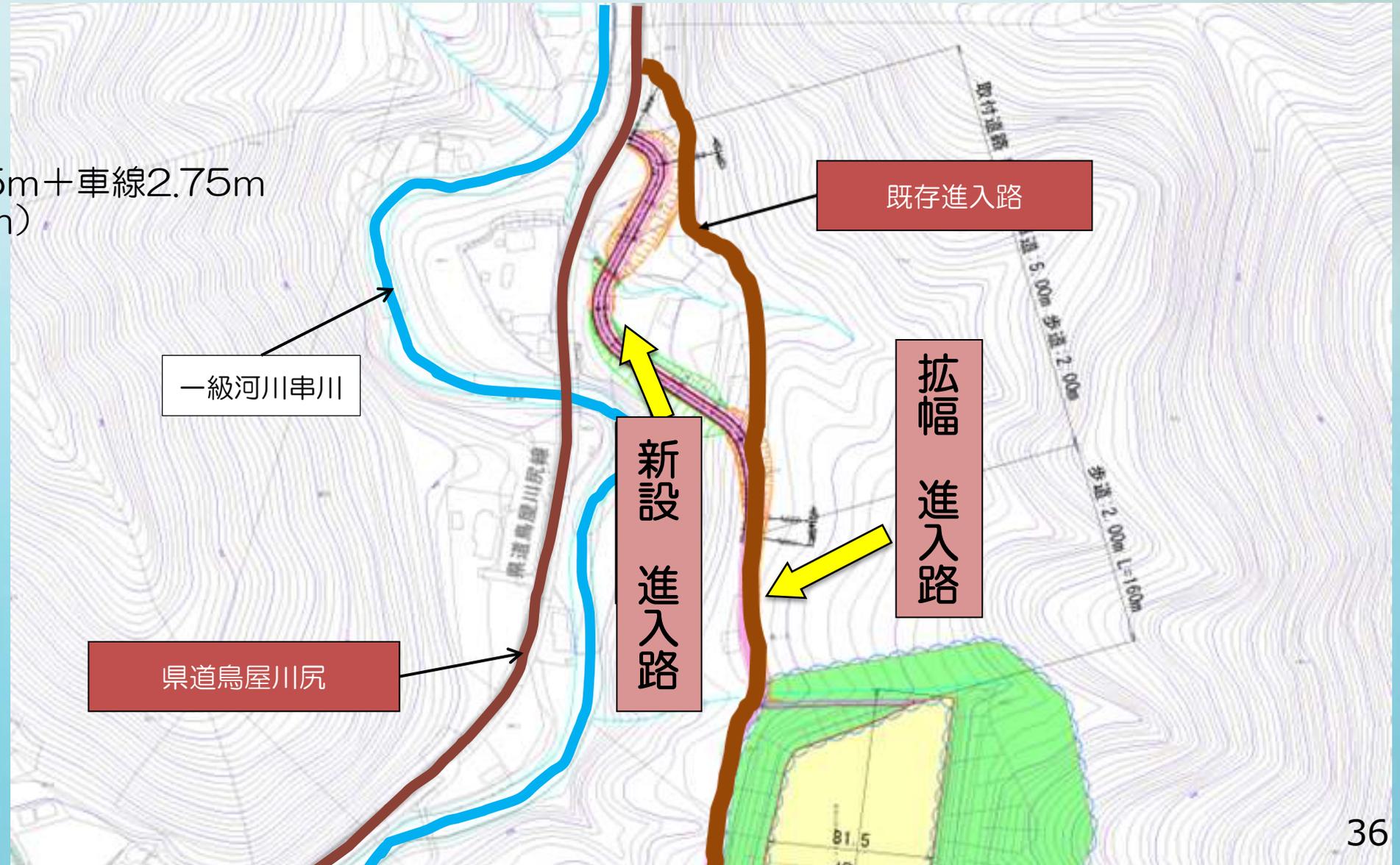
既存進入路入口



進入路の概略設計について

(H28.9市民を対象とした説明会資料より)

概略計画幅員：9.25m
(路肩0.75m+車線2.75m+車線2.75m
+路肩0.5m+歩道2.50m)



最終候補地（案）「青山」の新設進入路整備費

進入路の概略設計

概算造成費+概算用地費 ※建物本体工事費除く

- 寺沢奥南 約6.68億円（約6.27億円+約0.41億円）
- **青山** 約1.84億円（**約1.14億円**+約0.70億円）
- 土沢北 約6.21億円（約1.96億円+約4.25億円）

候補地「青山」の概算造成費（内訳）

工 種	金 額
敷地造成	約1,100万円
進入路 ・上下水道	約1億 300万円
合 計	約1億1,400万円

【参考】敷地造成の積算内訳

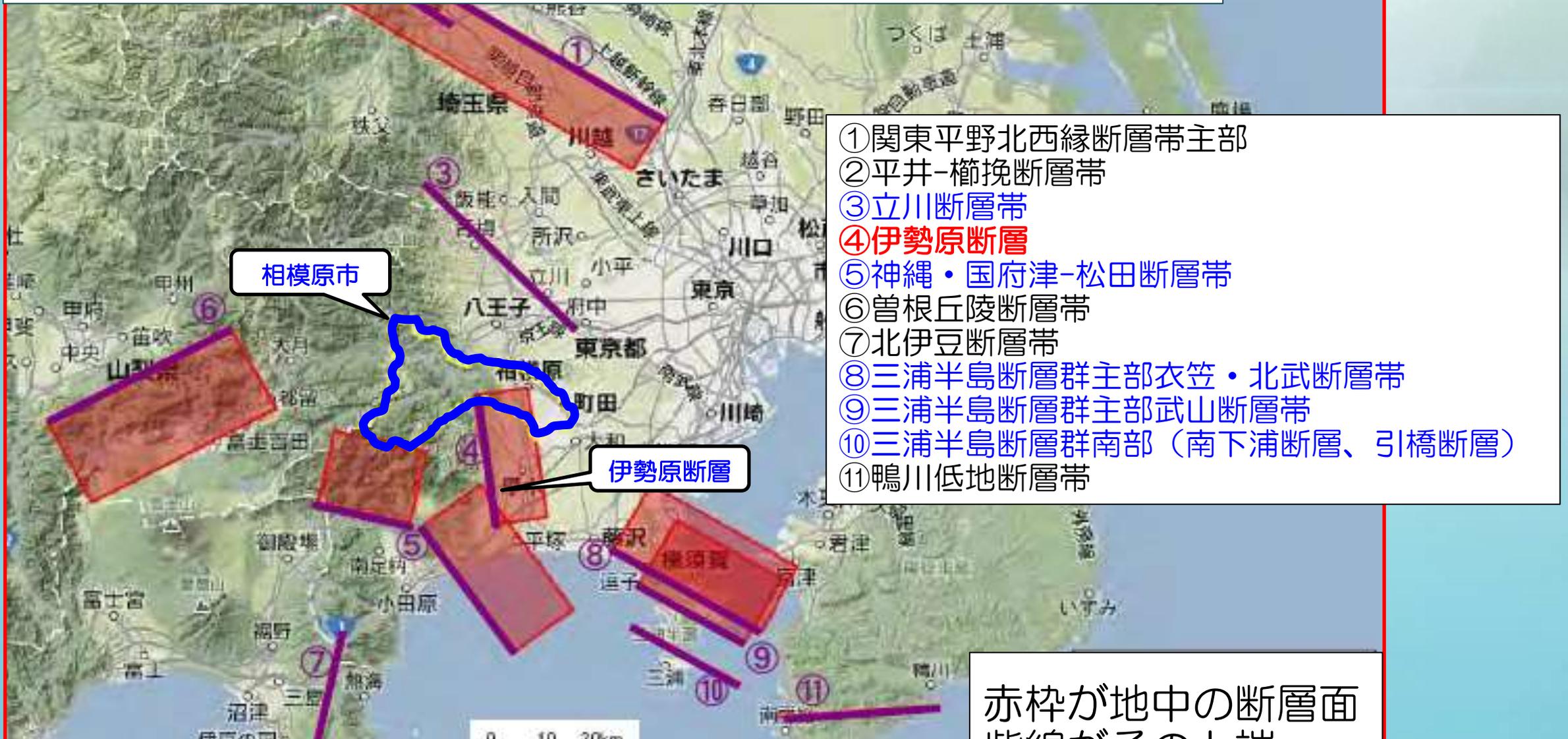
切土・盛土（整地含む）：36,000m³×200円/m³=7,200千円

諸経費50%：3,600千円

小 計：10,800千円（約1,100万円）

南関東付近の主要活断層帯

断層の状況



出典：相模原市防災アセスメント調査報告書（平成26年5月）

相模原市周辺の活断層の評価

断層名	活断層の評価
立川断層帯	平均活動間隔は約1万～1万5千年、最新の地震は1万3千年前～2万年前。今後30年間に 地震が発生する可能性は わが国の主な活断層の中では やや高いグループ に属する。
伊勢原断層	平均活動間隔は4千年～6千年程度で、 地震発生の可能性は低い。
渋沢断層・秦野断層	平均活動間隔は不明だが、約1万7千年前に活動しており、 今後も活動する可能性あり。 神縄・国府津-松田断層帯の活動に付随して活動する可能性もある。
神縄・国府津-松田断層帯	平均活動間隔は8百～1千3百年程度であり、最新の地震は12世紀～14世紀前半に発生したと考えられ、今後30年度に 地震が発生する可能性が わが国の主な活断層の中では 高いグループ に属する。
三浦半島断層群	詳細は不明であるが、今後30年年間に 地震が発生する可能性が わが国の主な活断層の中では 高いグループ に属する。

鶴川断層の位置

断層の状況



鶴川断層

最終候補地 (案) 「青山」

伊勢原断層

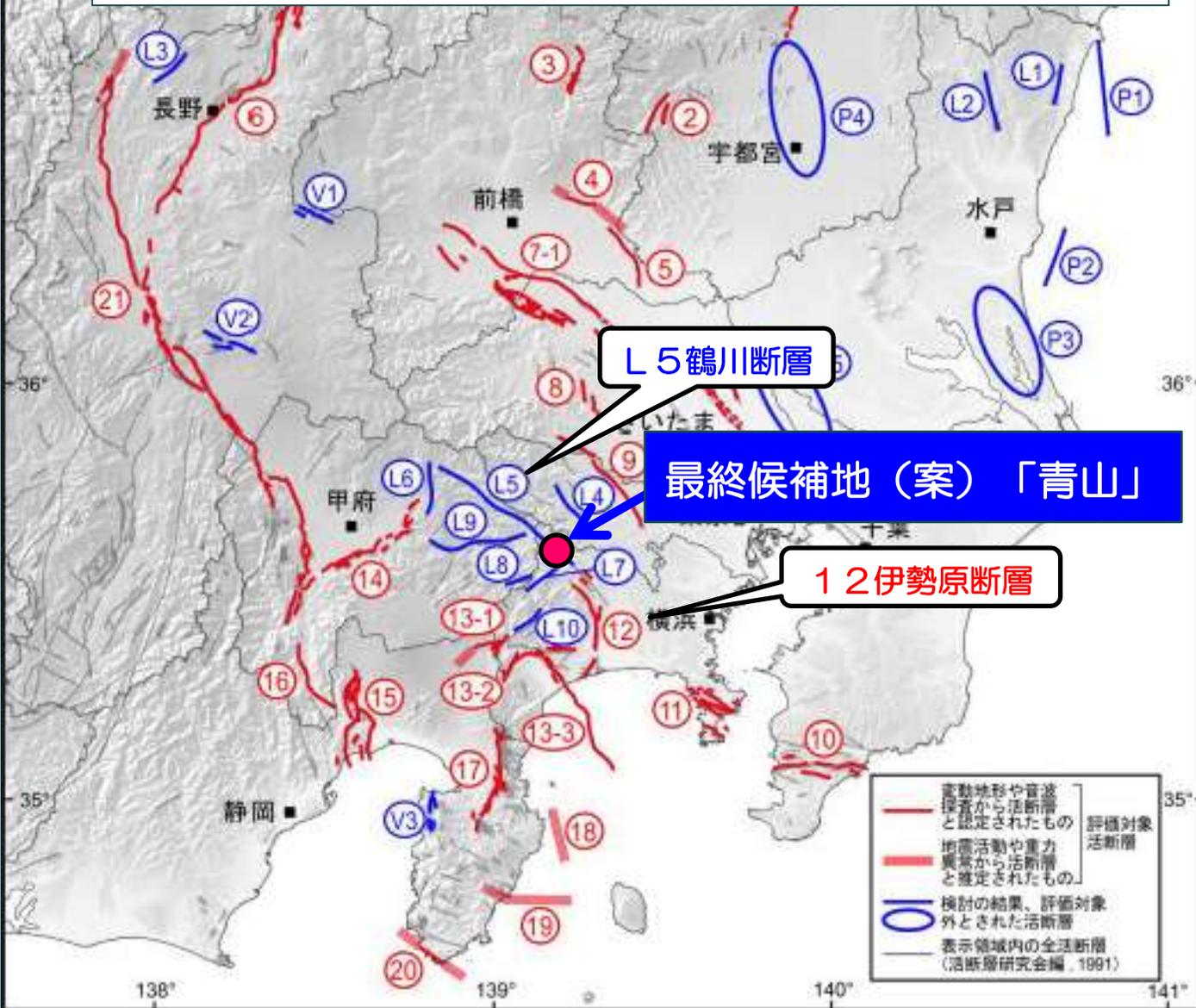
出典：産業技術総合研究所HP
※産業技術総合研究所とは平成13年に独立法人化された公的研究機関

※表示される断層の位置については、あくまで概略位置

鶴川断層

断層の状況

関東地域及びその周辺領域の断層の分布



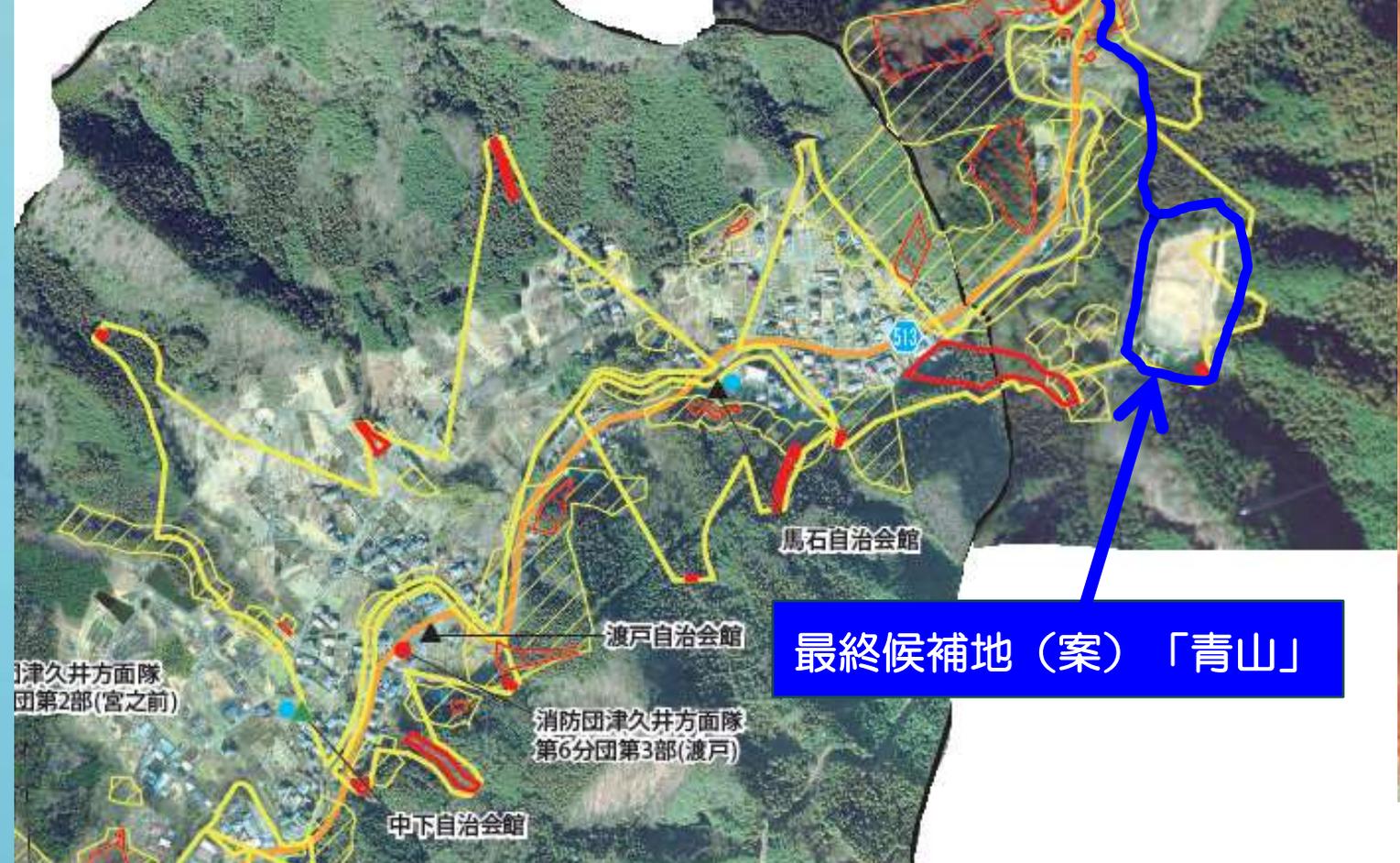
項目	付録番号 (構造名)
活断層の可能性のある構造	P1 (日立沖)、P2 (大洗沖)、P3 (貸間-行方)、P4 (関谷断層南方) P5 (野田)
活断層の可能性の低い構造	L1 (関口-黒磯リニアメント)、L2 (棚倉破碎帯西縁断層)、L3 (戸隠山断層)、L4 (武蔵五日市断層)、 L5 (鶴川断層) 、L6 (大菩薩嶺西断層)、L7 (長者舎断層)、L8 (道志川断層)、L9 (扇山断層)、L10 (玄倉断層)
火山活動に伴う活断層	V1 (トーマス断層)、V2 (霧ヶ峰断層群)、V3 (達磨山断層群)

出典：地震調査研究推進本部HP
 一関東地域の活断層の長期評価 (第一版) 概要一
 平成27年4月
**※地震調査研究推進本部とは
 文部科学省に設置された政府の機関**

相模原市土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域(土石流)の状況

・土砂災害ハザードマップとは
土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を地図上に表示したもので、日頃から土砂災害のおそれのある場所や避難場所などを確認し、災害時の避難行動に役立てていただくことを目的として作成したもの



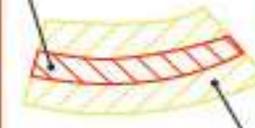
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の概要		
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域		
土砂災害警戒区域	土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域が指定されています。この区域では、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が図られます。	
土砂災害特別警戒区域	土砂災害が発生した場合に、被害時に被害が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域が指定されます。この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移動勧告などが行われます。	
土砂災害の種類	地図上の表示	発生の前兆現象
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ) 	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面がひび割れる。 ・小石がぼらぼら落ちる。 ・木が傾いたり倒れる。 ・木の根が切れる音がる。 ・わき水がとまる。あるいは、噴き出る。
傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ))	
土石流 	土砂災害特別警戒区域(土石流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨が降り続けているのに、川の水が減る。 ・川が急ににごったり、流木が混ざり始める。 ・木の裂ける音がる。 ・異常なおいがする。
崩壊した山腹や渓流の土石等が流下する自然現象	土砂災害警戒区域(土石流)	

相模原市土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域(土石流)の状況

参考：H28.8時点最終候補地（案）「青山」以外の候補地2箇所



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の概要		
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域		
土砂災害警戒区域	土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域が指定されています。この区域では、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が図られます。	
土砂災害特別警戒区域	土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域が指定されます。この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移動警告などが行われます。	
土砂災害の種類	地図上の表示	発生の前兆現象
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ) 	土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面がひび割れる。 ・小石がぼらぼら落ちる。 ・木が傾いたり倒れる。 ・木の根が切れる音がある。 ・わき水がとまる。あるいは、噴き出る。
傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象	土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊(がけ崩れ))	
土石流 	土砂災害特別警戒区域 (土石流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨が降り続けているのに、川の水が減る。 ・川が急ににごったり、流木が混ざり始める。 ・木の裂ける音がある。 ・異常なおいがする。
崩壊した山腹や渓流の土石等が流下する自然現象	土砂災害警戒区域 (土石流)	

新たな火葬場整備事業に係る平成29年度市民や地域住民への説明会日程

- 9/21 (木) 関上自治会説明会
19:00～ 会場：関上自治会館
- 9/29 (金) 関地区自治会説明会（石神、関上、共進、宮前、宮下、大堀）
19:00～ 会場：串川地域センター多目的ホール
- 10/13 (金) 長竹地区自治会説明会（長竹、石ヶ沢、葦尾根、稻生）
19:00～ 会場：串川地域センター多目的ホール
- 10/18 (水) 根小屋地区自治会説明会（中野、明日原、平井、荒匂、根本、谷戸、寺沢、土沢、金丸、金原）
19:00～ 会場：串川ひがし地域センター多目的室
- ~~10/23 (月) 馬石自治会説明会~~ ⇒ 台風により中止
~~19:30～ 会場：馬石自治会館~~
- 10/25 (水) 鳥屋地区自治会説明会（馬石、渡戸、中下、中上、宮之前、谷戸、西門、道場、御屋敷、荒井、大上）
19:30～ 会場：鳥屋地域センター会議室
- 11/19 (日) 市民説明会
10:00～ 会場：津久井中央公民館1階ホール

以 上